

3月17日
聖徒伝 224

消費者ではなく 証しの生産者に

エレミヤ書 3章

イスラエル、ユダへの罪の告発

アウトライン

0. イントロダクション

I. イスラエル、ユダの罪の告発

3:1~13

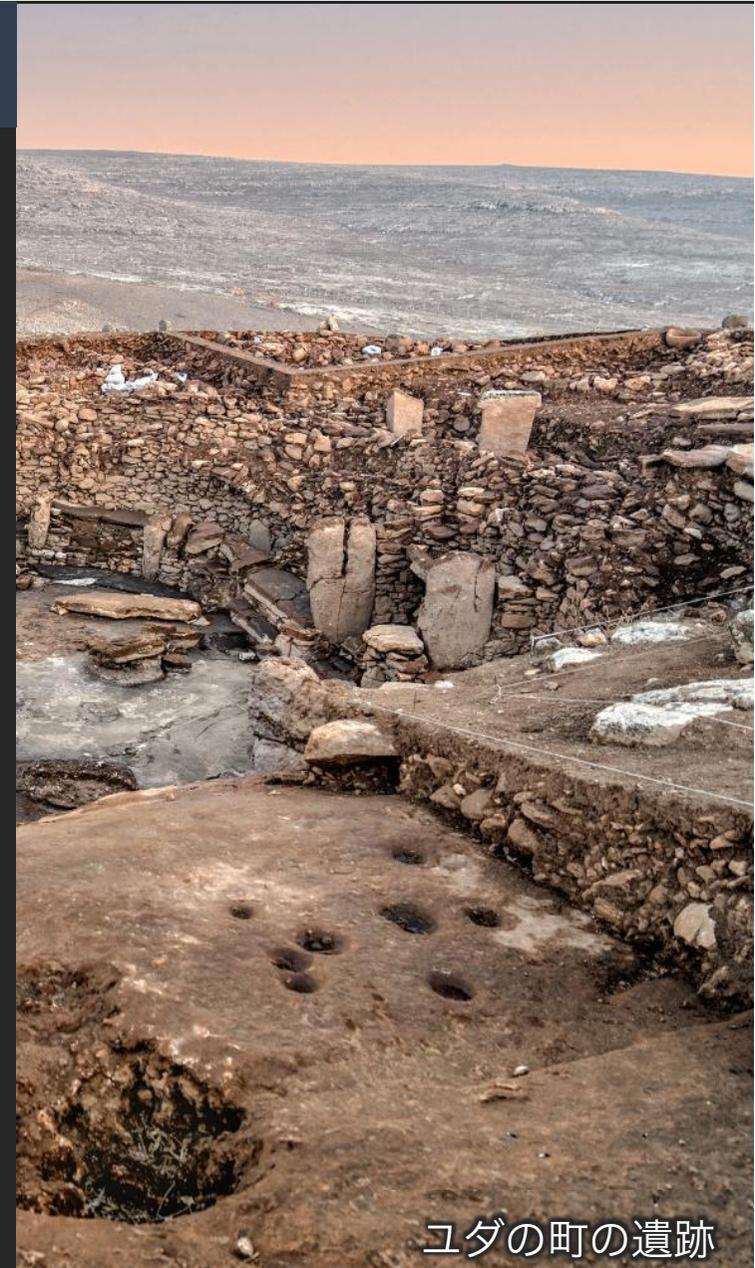
II. 神の国の希望と回心

3:14~25

III. まとめと適用

消費者ではなく、
主の証しの生産者に

聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会

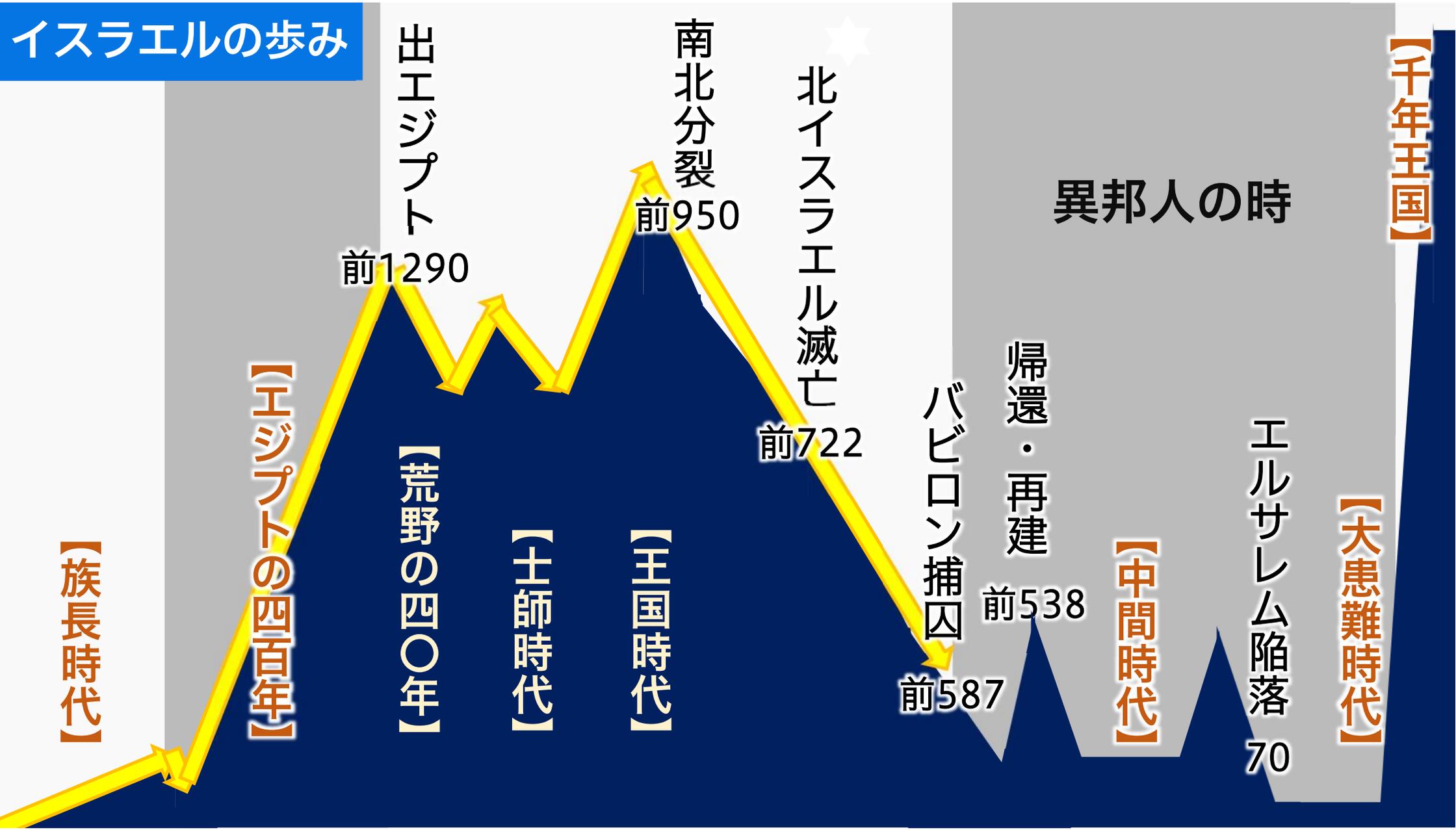


ユダの町の遺跡



0. イントロダクション

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

異邦人の時

前1290

前950

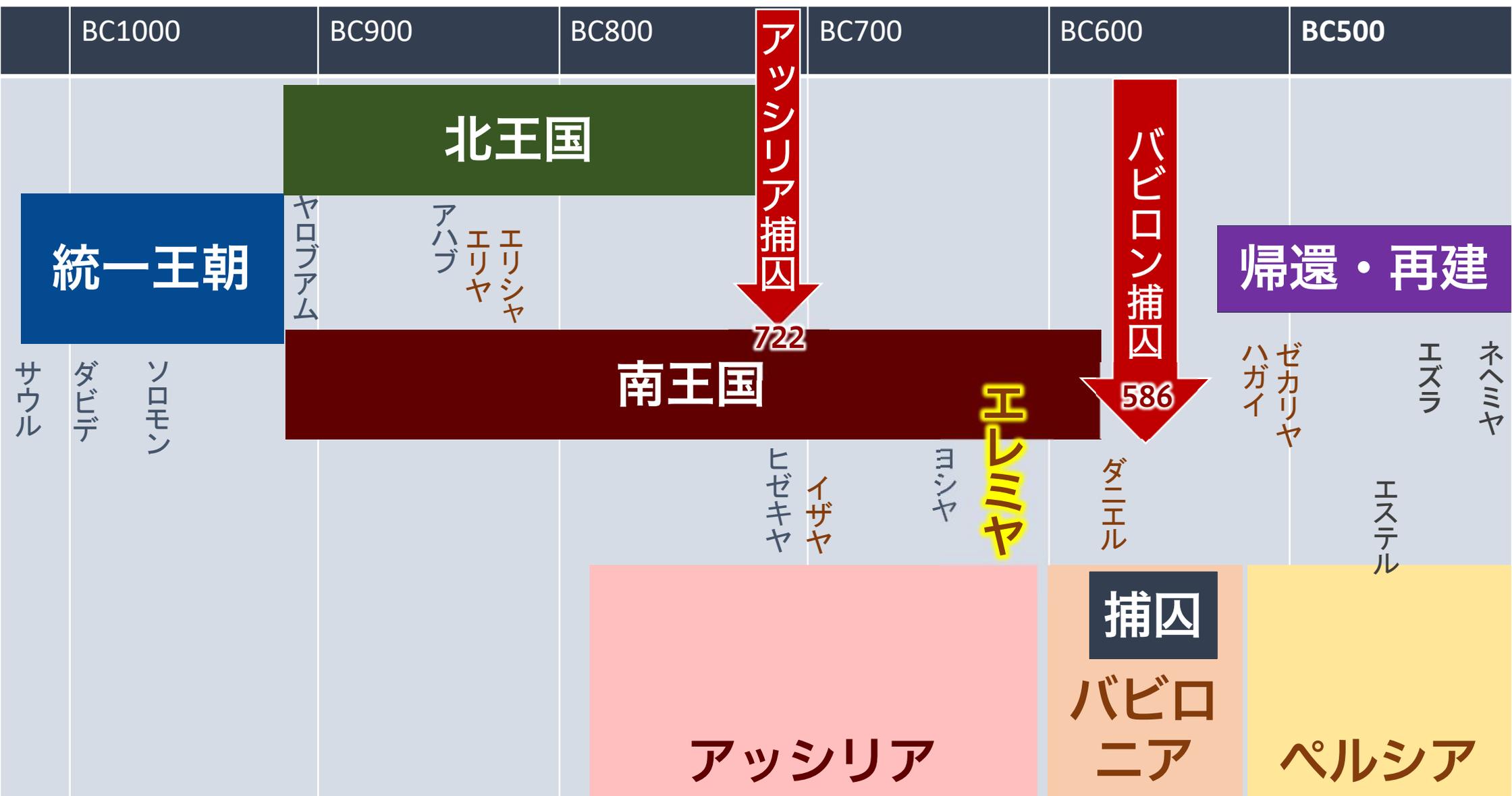
前722

前587

前538

70

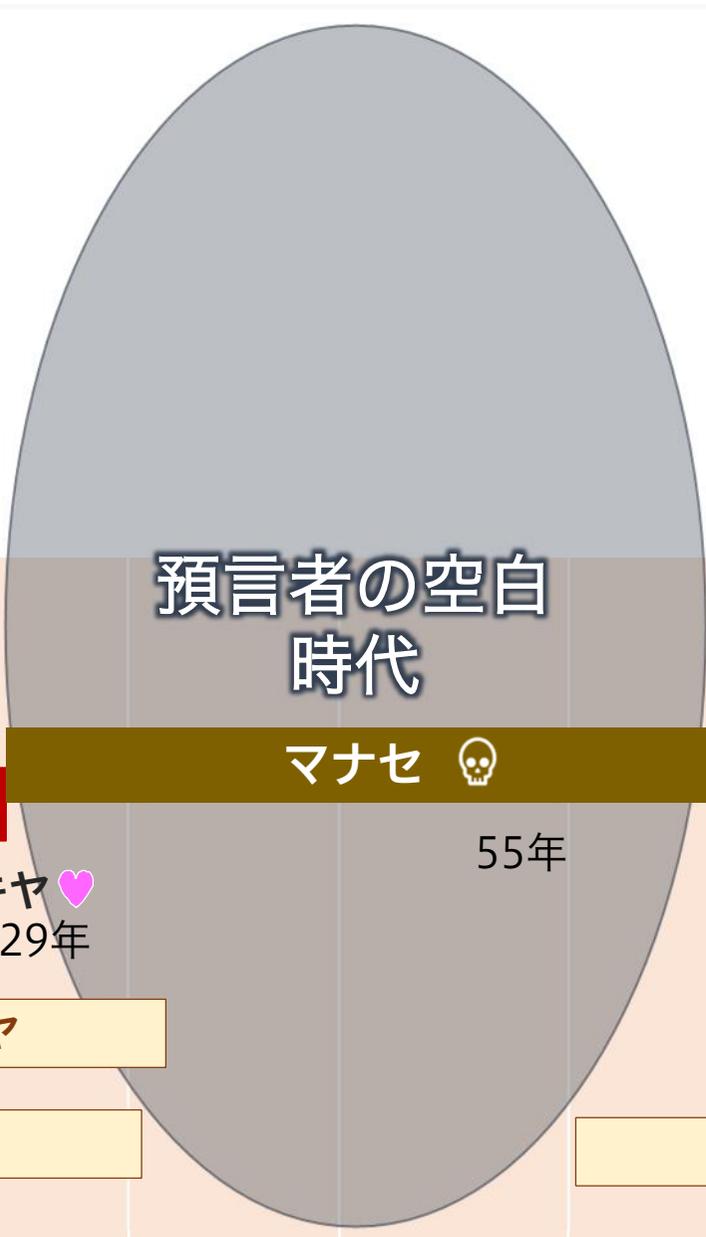
イスラエル王国史



北王国
イスラエル

アッシリア捕囚
BC722年

南王国
ユダ



バビロン捕囚



エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、南王国の滅亡は決定的!!
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。
→ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、
ついにバビロニアの侵略、滅亡 → **バビロン捕囚**

南王国が滅びに至る時代に派遣された 涙の預言者



I. イスラエル、ユダの罪の告発

エレミヤ書3章1～13節

イスラエルの山地

3章の構造 イスラエル・ユダへの三段階の告発

① 主の宣告 1～5節

② 主の宣告 6～10節 …ヨシヤ王の時代に、主は私に言われた。

③ 主の宣告 11～22節 …主は私に言われた。

④ 民の応答 22～25節 …今、私たちはあなたのもとに参ります

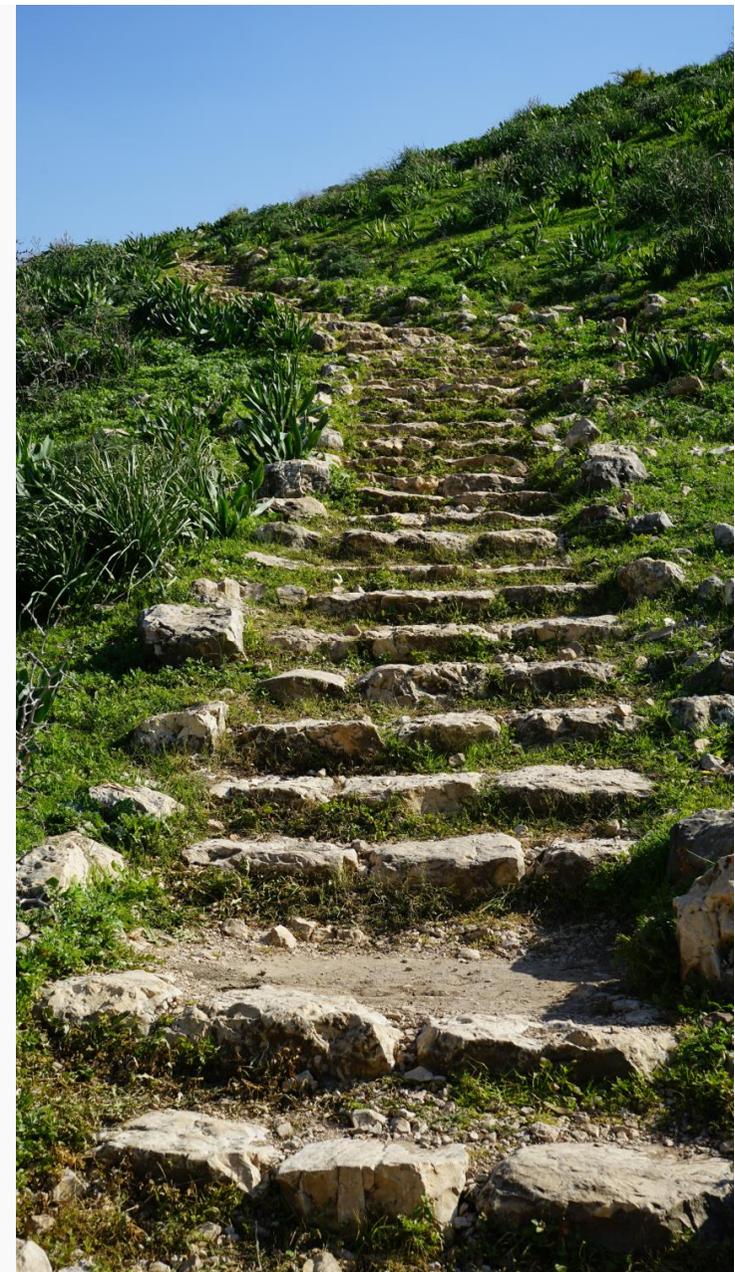
①宣告 淫行^{*}の妻 エレミヤ3:1

もし、人が自分の妻^{*}を去らせ、彼女が彼のものを去って、ほかの男のものになったら、この人は再び先の妻のもとに戻れるだろうか。そのような地は大いに汚れていないだろうか。あなたは、多くの愛人と淫行を行って、しかも、わたしのところに帰るといえるのか。——
【主】のことば——

*イスラエルは、「ヤハウエの妻」

■突きつけられる、偶像礼拝の罪の重さ

➡本来ならゆるされようのない重い罪

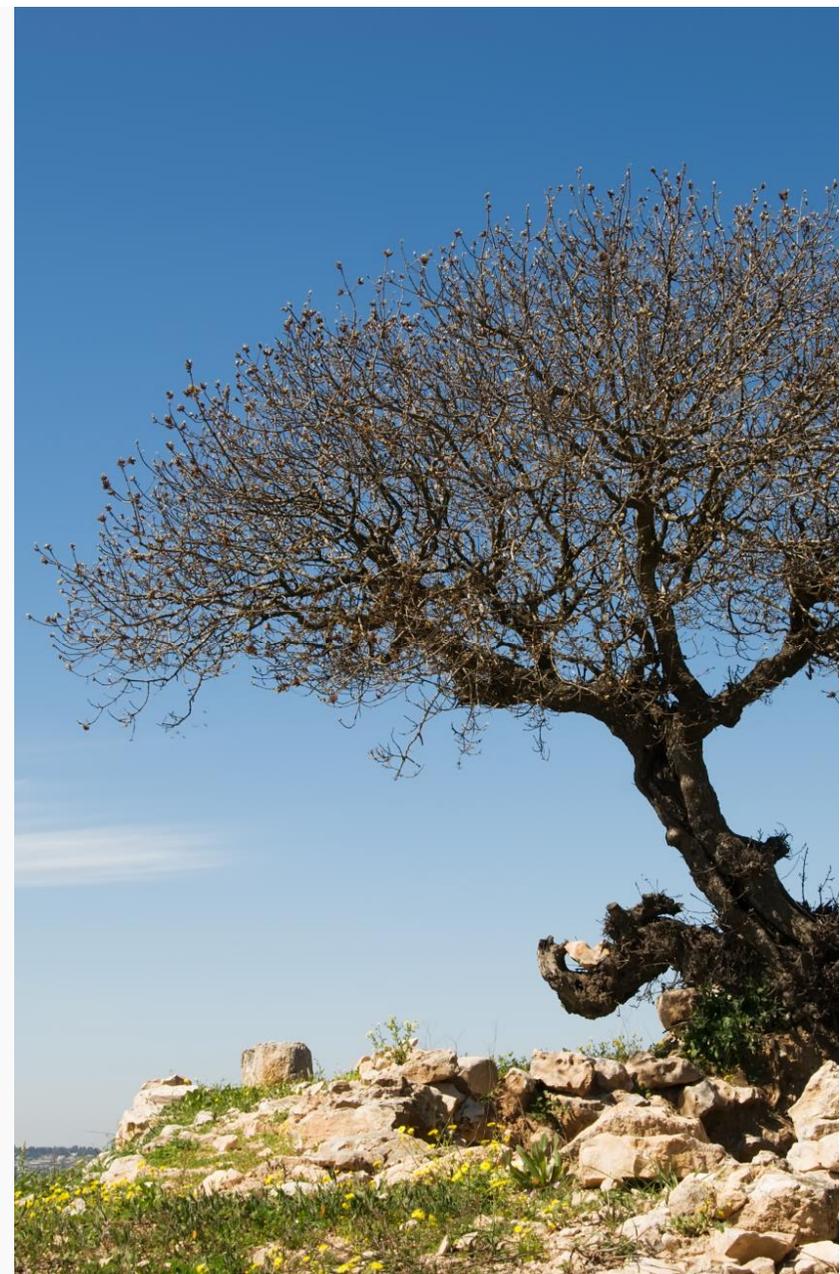


①宣告 靈的姦淫 エレミヤ3:2

目を上げて裸の丘*を見よ。あなたが共寝しなかったところがどこにあるか。荒野のアラビア人がするように、あなたは道端で相手を待って座り込み、淫行と悪行によって、この地を汚した。

*偶像の祭壇が置かれた「高き所」

■異邦人の遊女のように、自ら偶像を求め、靈的姦淫、主への罪に陥っていった。



①宣告

靈的干ばつ エレミヤ3:3

それで大雨はとどめられ、後の雨*はなかった。
それでも、あなたは遊女の額*をして、恥じる
ことを拒んでいる。

*雨期の後半、2~3月頃に降る雨。

➡麦の実りに欠かせない重要な雨

*頭を覆わず、さらけ出した状態

➡遊女のような恥ずべき状態

■収穫がもたらされない深刻な状況でも、
なお悔い改めない南王国・ユダの姿。



① 宣告

二枚舌 エレミヤ3:4~5

今でもあなたは、わたしにこう呼びかけているではないか。「父よ、あなたは私の若いころの恋人です。いつまでも恨みを抱かれるのですか。永久に持ち続けるのですか」と。なんと、あなたはこう言っているから、あらん限りの悪を行っている。』」

■ 断罪される、言葉だけの悔い改め。

➔ ヨシヤ王の宗教改革の時代でも
真実に悔い改めた者は少数だった。



② 宣告 イスラエルの罪 エレミヤ3:6～7

ヨシヤ王の時代に、【主】は私に言われた。「あなたは、背信の女イスラエル*が行ったことを見たか。彼女はあらゆる高い山の上、青々と茂るあらゆる木の下に行き、そこで淫行を行った。

わたしは思った。彼女がこれらすべてを行った後で、わたしに帰って来るだろうと。しかし、帰っては来なかった。そして裏切る女、妹のユダ*もこれを見た。

*イスラエル = 北王国、ユダ = 南王国

■ アッシリア捕囚を経ても悔い改めはなかった。



②宣告 ユダの罪 エレミヤ3:8～9

背信の女イスラエルが姦通をしたので、わたしは離縁状を渡して追い出した*。しかし、裏切る女、妹のユダが恐れもせず、自分も行って淫行を行ったのをわたしは見た。

彼女は、自分の淫行を軽く見て、地を汚し、石や木と姦通した。

*アッシリア捕囚。強制移住で多くが離散。

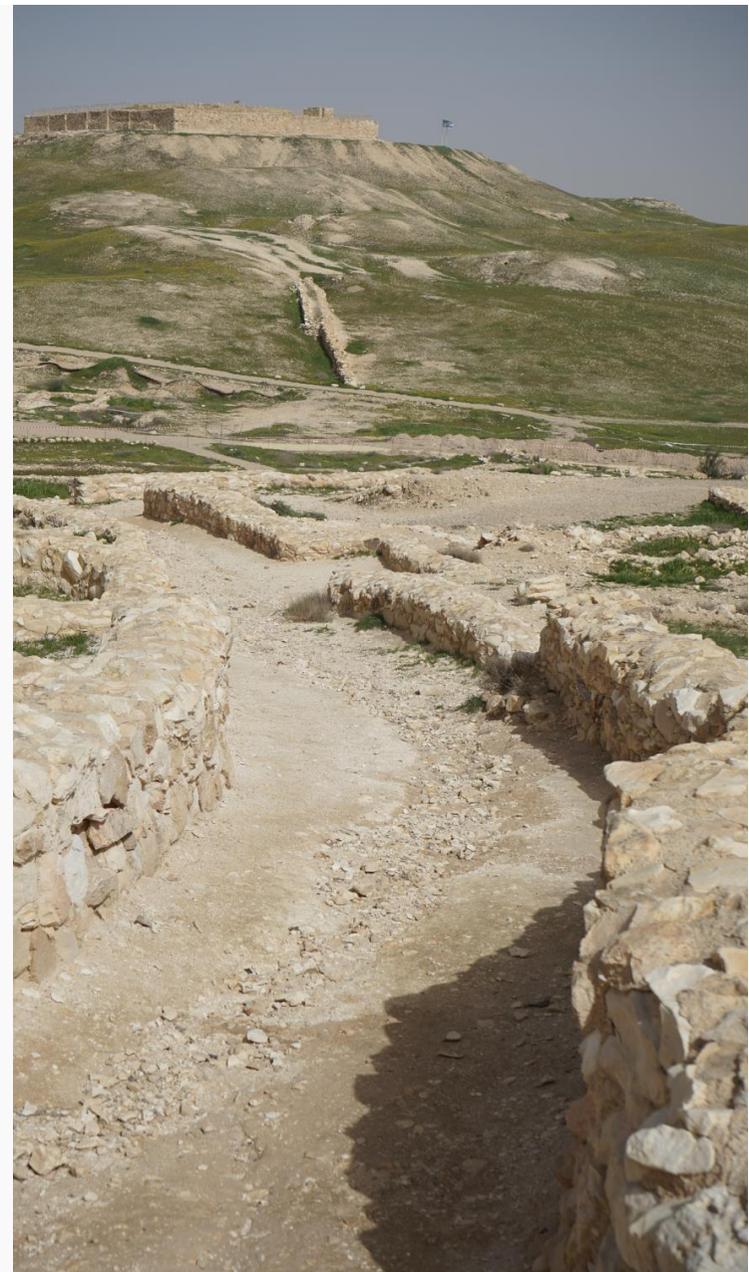
■北王国への裁きを目撃しながら、南王国も偶像礼拝に陥っていった。



②宣告 重い裏切り エレミヤ3:10~11

このようなことをしながら、裏切る女、妹のユダは、心のすべてをもってわたしに立ち返らず、ただ偽ってそうしただけ*だった——【主】のことば。」

*何人も善王が現れても、悔い改めは一時的で長続きせず、偶像礼拝は悪化の一途。





II. 神の国の希望と回心

エレミヤ書3章14～25節

③宣告 北への呼びかけ エレミヤ3:12

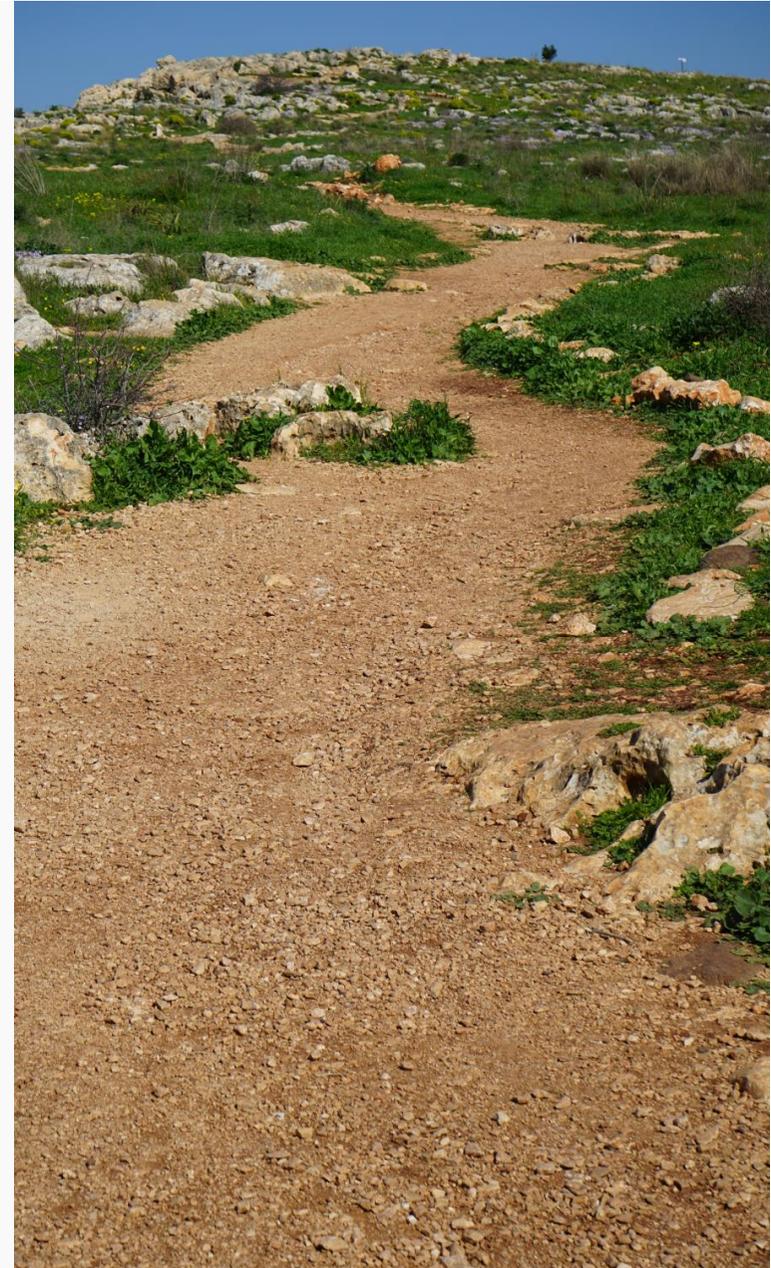
【主】は私に言われた。「背信の女イスラエルは、裏切る女ユダよりも正しかった*。」

行って、次のことばを北の方に叫べ。『背信の女イスラエルよ、帰れ。——【主】のことば——わたしはあなたがたに顔を伏せはしない。わたしは恵み深いから。——【主】のことば——わたしは、いつまでも恨みはしない。』

*エルサレムのあるユダの方が責任は重い。

■ アッシリア捕囚でズタズタにされても、主はなお北王国を見捨てられてはいない。

➡ モーセへの約束のゆえ(申命記)



③ 宣告 認罪の促し エレミヤ3:13

ただ、あなたはあなたの咎*を認めよ。あなたはあなたの神、【主】に背いて、青々と茂るあらゆる木の下で、他国の男と勝手なまねをし、わたしの声に聞き従わなかった。——【主】のことば。

*金の子牛を建て、シリアなどからも、積極的にバアル礼拝を取り込んだ。

➡シドンから嫁いだ、悪女イゼベル



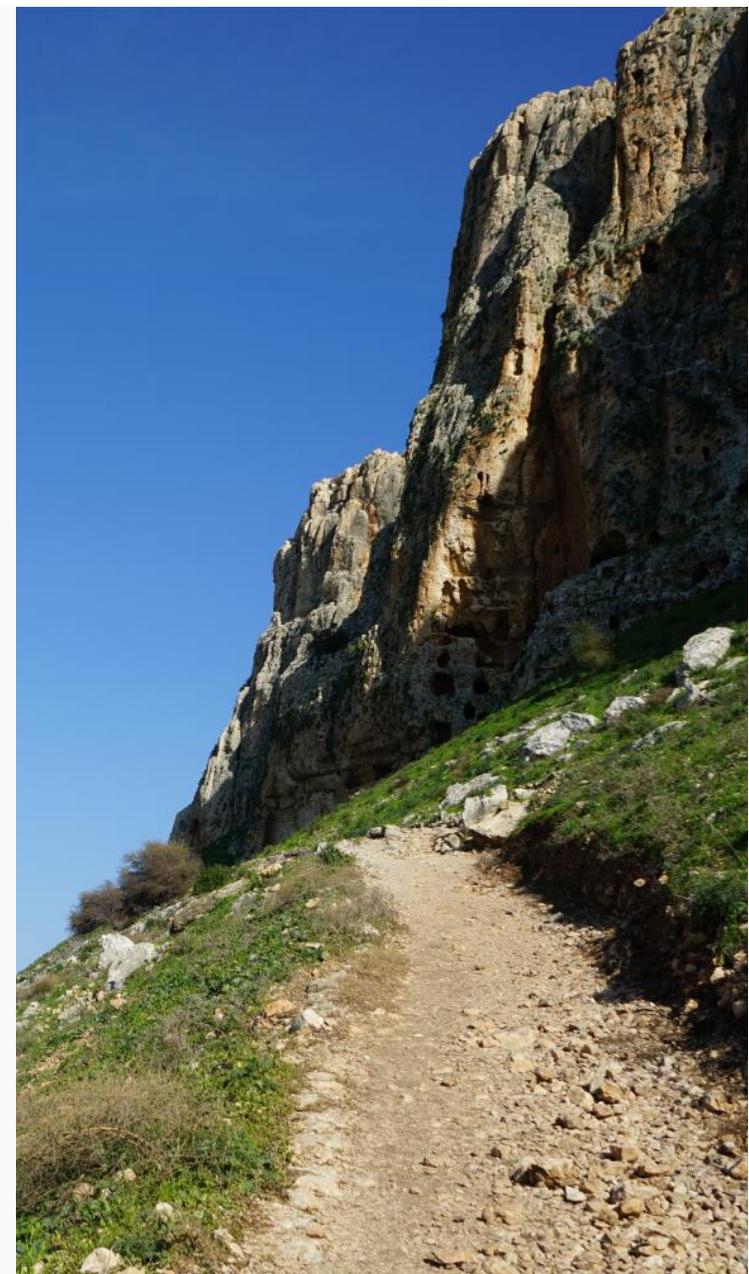
③ 宣告 回復の時 エレミヤ3:14

背信の子らよ、立ち返れ——【主】のことは——。わたしが、あなたがたの夫であるからだ。わたしはあなたがたを、町から一人、氏族から二人選び取り、シオンに連れて来る。

また、あなたがたに、わたしの心にかなう牧者たち*を与える。彼らは知識と判断力をもってあなたがたを育てるだろう。

■ 離散の民の残された者が、都に帰還。

歴代の聖徒たちが人々の牧会にあたる。



③ 宣告 役目を終えた箱 エレミヤ3:16

あなたがたが地に増えて多くの子を生むとき、その日には——【主】のことば——人々はもう、【主】の契約の箱*について語ることもなく、それが心に上ることもない。彼らがそれを思い出すことも、調べることもなく、それが再び作られることもない。

*十戒を収めた箱は、モーセの律法の象徴。

契約の箱の蓋に、神の臨在があった。

■ 新たな都には、メシアご自身がおられる。

人々は聖霊に満たされ、御言葉を生きる。



③ 宣告 永遠の帰還 エレミヤ3:17

そのとき、エルサレムは【主】の御座と呼ばれ、万国の民はこの御座、【主】の名のあるエルサレムに集められ、彼らは二度と頑なな悪い心のままに歩むことはない。

■ 神の国の都が、エルサレム。

すべてイスラエルは都に住み、主に仕える。

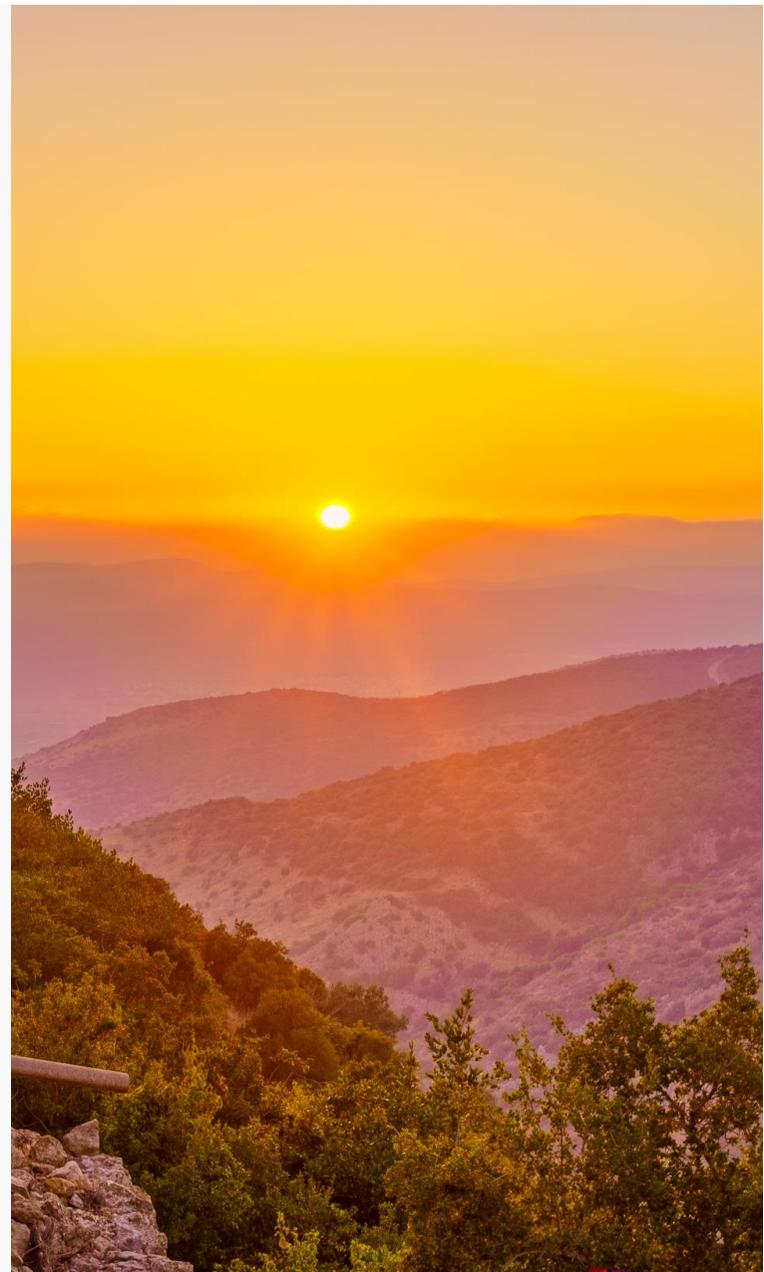
万国の民が、都に上って礼拝する。



③ 宣告 父なる神の思い エレミヤ3:19

わたしは思っていた。どのようにして、あなたを息子たちの中に入れ、あなたに慕わしい地を与えようかと。国々のうちで最も美しいゆずりの地を。また、あなたがわたしを父と呼び、わたしに従って、もう離れないと思っていた。

■ 背教し、離散したイスラエルに対しても、生き続けて、進められている主の約束。



③ 宣告 哀願の鳴き声 エレミヤ3:20~21

ところが、なんと、妻が夫を裏切るように、あなたがたはわたしを裏切った。イスラエルの家よ——【主】のことば——。

一つの声が裸の丘*の上で聞こえる。イスラエルの子らの哀願の泣き声だ。彼らが自分たちの道を曲げ、自分たちの神、【主】を忘れたからだ。

背信の子らよ、立ち返れ。わたしがあなたがたの背信を癒やそう。』』

*高きところも、元来は主を礼拝する場

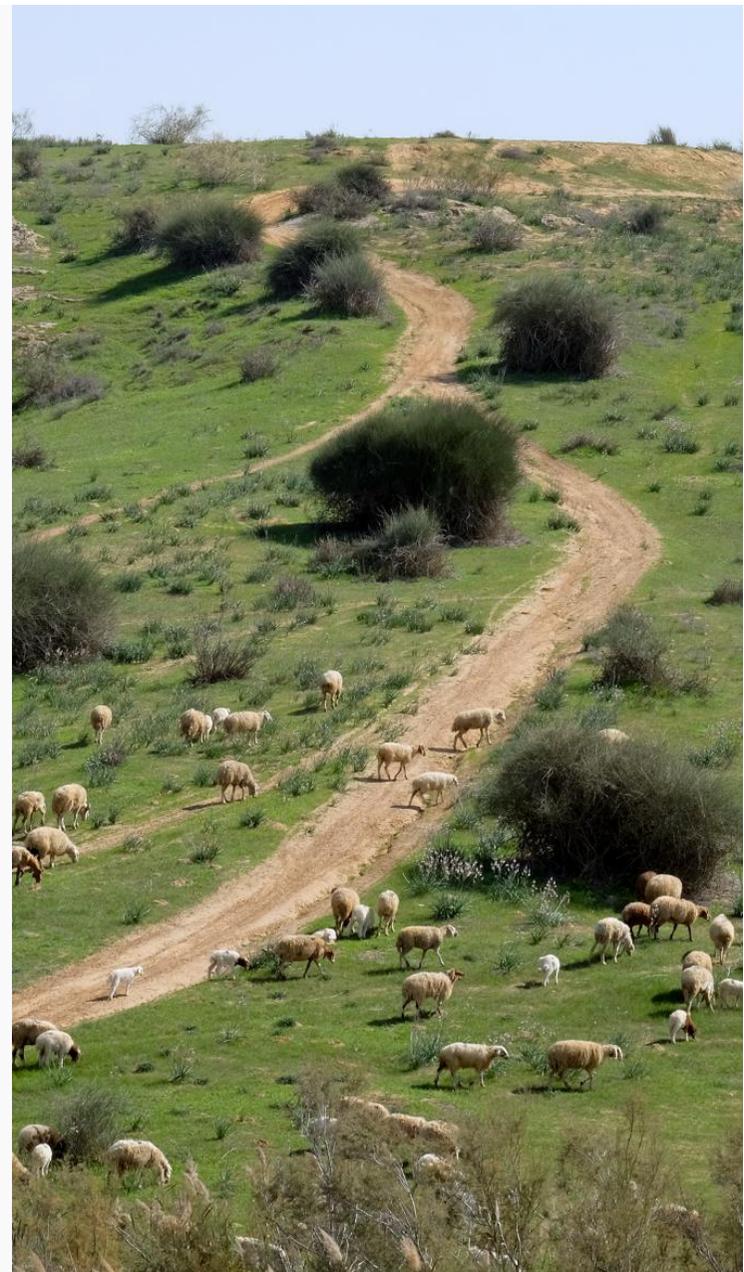
破壊され尽くした神殿の丘は、裸の丘?!



④ 応答 認罪 エレミヤ3:22～23

「今、私たちはあなたのもとに参ります。
あなたこそ、私たちの神、【主】だからです。
まことに、もろもろの丘も、山の騒ぎも、
偽りでした*。確かに、私たちの神、【主】に
イスラエルの救いがあります。」

*偽りの礼拝は、「騒ぎ」にすぎない



第五連 罪の告白 エレミヤ3:24

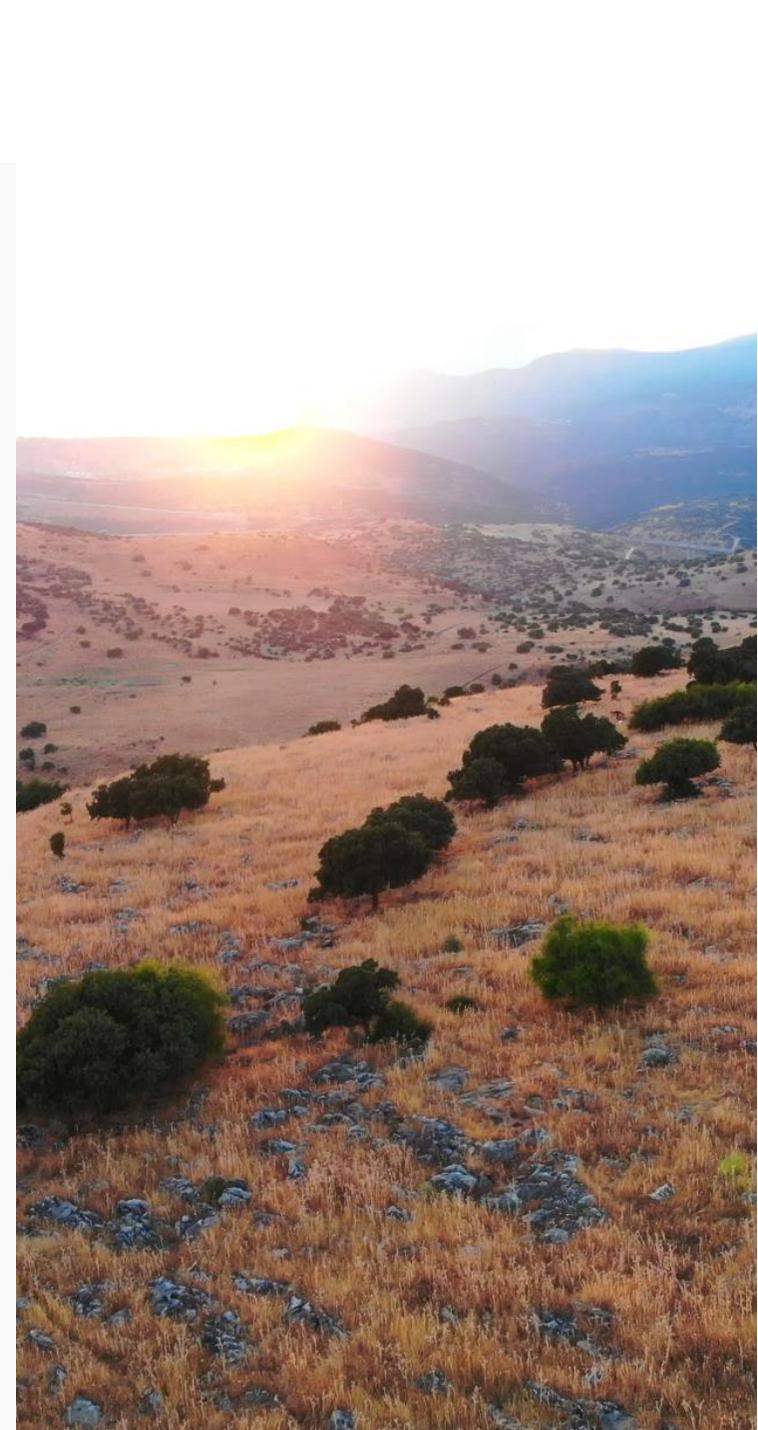
しかし、私たちが若いころから、**恥ずべきもの**が、私たちの先祖の労苦の実、彼らの羊の群れ、牛の群れ、息子、娘たちを食い尽くしてきました。

***ボシエツト …恥 …ここでは偶像**

■ 罪から生まれるのが、恥

最初に恥を覚えたのは、アダムとエバ

■ 民の労力、収穫や家畜、すべてが、
偶像礼拝に注がれ、飲み込まれてきた。



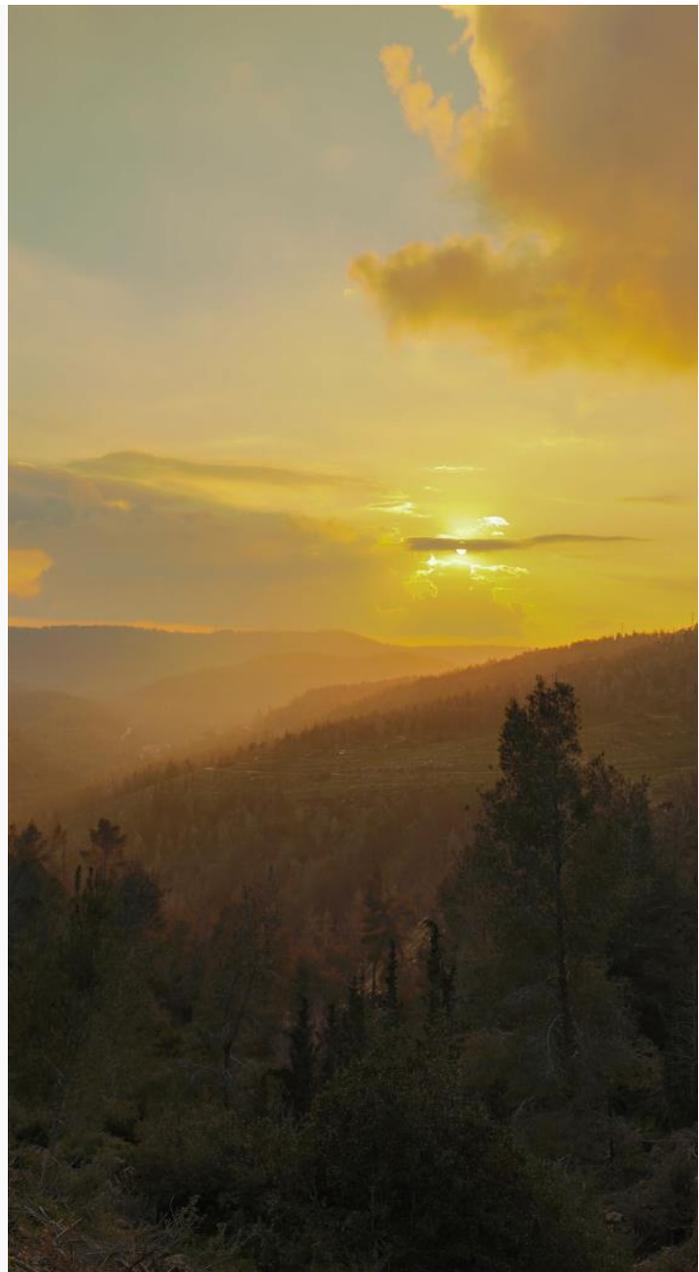
第五連 悔い改めへ エレミヤ3:25

私たちは恥の中に伏し*、恥辱が私たちの覆い*
となっています。私たちの神、【主】に対し、
私たちも先祖も、若いころから今日まで罪の中
にいて、私たちの神、【主】の御声に聞き従わ
なかったからです。」

*灰の中に伏して悔い改めるべき所を…

*本来、罪を覆うのは主に献げた犠牲の血

■ 出エジプト以降のイスラエルの罪を思い、
民族をとりなし、悔い改めるエレミヤの姿





Ⅲ. まとめと適用 消費者ではなく、主の証しの生産者に

預言者エレミヤの活動を思う

■ 王国史上最大規模の宗教改革が進められたヨシヤ王の時代に、エレミヤが主に託され告げたのは、痛烈な罪の宣告。

「ユダは、心のすべてをもってわたしに立ち返らず、ただ偽ってそうしただけだった。エレミヤ3:10

■ 罪を告げるなら、悪王と善王、どちらが精神的により辛い？

例) ダビデの罪を告げたナタンは？ ソロモンの罪を誰か指摘？

ヨシヤ王にまで罪を宣告する、エレミヤの孤独はどれほど？

エレミヤの同労者たち

- エレミヤは、書き記した預言者・Writing prophet。
- 羊皮紙に書き記す作業は、一人ではできない。
(※残された7千人の信仰者から、預言者学校を組織したエリヤ
→活動の中心は、律法の写本を残し、預言を記録すること)
- マナセの大迫害を経て、生き延びていた預言者は少数だろうが、エレミヤの預言を書き記す同労者はいただろう。

主が必ず、共に働き、遣わされる同労者をも与えてくださる

北王国と南王国 より罪が重いのは？

「背信の女イスラエルは、裏切る女ユダよりも正しかった。3:11」

■最初に金の子牛を建て、最後まで偶像礼拝に浸っていた北王国。
しかし、より大きな責任を負っているのは、南王国。

→南王国には、エルサレムの都があり、祭司たちが仕え、
神殿があり、主の臨在があった。

靈的に恵まれるほど、大きな責任も与えられる

私たちの信仰の責任

- リベラル(自由主義神学)は、南王国?! 人間の理性を偶像に。人間中心が土台であるなら、最初からすべて間違っている。
→ 悔い改めはシンプル。すべて破棄してしまえばいい
- 福音派は、北王国?! 真実と虚偽が複雑に絡み合う。
→ 悔い改めは困難。見極めには精緻な主の知識と知恵が必要
- ヘブル的視点から聖書を学び、より真理に近いというのなら、さらに大きな責任を負っていることを覚えよう。

エレミヤの苦難に思いを馳せつつ

- 王国史上最大の宗教改革を行った、ヨシヤ王の時代に、なお、はびこる偽善の罪を告発させられたエレミヤ。劇的な信仰復興を目の前に、迫る滅びを突きつけられて。
- イスラエル、ユダの罪の救いをとりなし祈りながら、エレミヤは、決して身代わりにはなれない、罪ある自分の不完全さを思い知らされてもいただろう。

私たちの幸いは、十字架で死なれ、復活されたキリストご自身

★ 消費者ではなく、主の証しの生産者に!! ★

- あふれるコンテンツの消費者から、主に用いられる生産者に!!
- 聖書の学びを深めるほどに、応答すべき責任も増していく。
福音を告げ、主イエスを証し、行いによる信仰の実を結ぼう。
- 偉大な説教者も、祝福に満ちた共同体も、私の信仰を保証してはくれない。私自身が踏み出さなければ、何一つ始まらない。
悔い改めは、方向転換。向き直って、一步踏み出すところから

私自身の人生をもって、主の招きに応え、応え続けていこう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

えいえん すく よろこ たし
永遠の救いの喜びが、確かなものとなりますように。

みことば しんり う と き したが たす
御言葉の真理を受け取り、聞き従えるよう、助けてください。

しゅ あがな いのち しゅ みまえ
主に贖われたこの命を、主の御前におささげします。

みたま み うち わたし つか もち
御霊の満たしの内に、私を遣わし、用いてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」